



8月の園だより



今月の予定

令和3年8月1日
さかえ保育園

1日(日)	
2日(月)	
3日(火)	食材紹介:きゅうり、スッキーニ
4日(水)	体操教室
5日(木)	
6日(金)	食育活動:玉葱の皮むき(3)
7日(土)	
8日(日)	
9日(月)	
10日(火)	
11日(水)	
12日(木)	
13日(金)	
14日(土)	
15日(日)	
16日(月)	
17日(火)	誕生会 早寝早起き朝ごはんの話(幼)
18日(水)	体操教室
19日(木)	乳児健診
20日(金)	食育活動:箸指導(4)
21日(土)	
22日(日)	
23日(月)	英語教室 食育活動大根細切り(5):しめじほくし(1)
24日(火)	
25日(水)	体操教室
26日(木)	食育活動:絹さやの筋取り(4)
27日(金)	
28日(土)	
29日(日)	
30日(月)	食育活動:キャベツちぎり(2)
31日(火)	

津久井やまゆり園15年ぶりに新園舎にて再開所、この障害者施設の名に記憶のある保護者の皆さんがどれほどいらっしゃるか…。大海を知らず、小社会での身勝手な考えで人の命を奪う大きな事件が起きた場所です。詳細はGoogle先生に聞くと大雑把に教えてください。「この子らを世の光に」という言葉をご存知の保護者の方はいらっしゃるだろうか？日本の福祉の父と呼ばれる糸賀一雄氏の言葉です。障害施設の先駆けとして実践してきた人物です。54歳で他界するまでに様々な実践を通して日本の障害施設の確立を成した方で、私も敬愛する人物のひとつでもあります。先の大きな事件で「この子らを世の光に」という言葉をメディアから聞かされた時、心を鋭くえぐられるような思いをしました。この言葉を噛み締める度に昭和初期から続けた福祉の思想が引き継がなければならないと感じています。「この子らを世の光に」という言葉の後に「世の光をこの子らに」と続くのだと恩師から教わりました。そして子ども達が光り輝くためには周りにいる手を差し伸べることでできる人たちの尽力がなければなりません。8月に入り各ご家庭では出かける計画もあるでしょう。子ども達には、その行き先で常に手を差し伸べることでできる人たちと一緒にいなければ夜病に晒され、事故事件に巻き込まれることもあるでしょう。手を離してはいけません。子ども達に降り注ぐ光を子ども達に届くようにして過して下さい。さかえ保育園のロゴの右側に記されているものはこの言葉から引用されています。

Children are starlike and shining symbols in the future.

北九州の防げることで起きた事故、児童が亡くなった事件の報告を受けたとき、身が引き締まる思いをしました。良い夏の思い出を聞かせてもらえることを楽しみにしています。

—園長—



給食より

夏バテについて



夏バテは、夏は体に暑さがこもり、汗をたくさんかくので、エネルギーを作り出す時に必要なビタミンB群が排出されてしまうことで、体がだるくなったり、眠くなったりする症状の事です。

夏バテの予防のためには↓

特に、タンパク質やビタミン・ミネラル類をしっかりとることが効果的です。

【良質のたんぱく質】

●大豆食品、卵、肉、魚、牛乳等消化の良いたんぱく質をとりましょう

【エネルギー代謝を良くするビタミンB群】

●ビタミンB群:豚肉・レバー・魚(赤身の魚)・貝類(アサリ・カキ・シジミ)・ウナギ・玄米・

フロッコリー・枝豆・パセリ・にら・ごま等

【ミネラル豊富な野菜や果物】

●きゅうり、スイカ、トマト、ゴーヤ、オクラ、レタス等の夏が旬の野菜や果物

まだまだ暑い日が続きますが、夏バテにならないように予防し、元気に過ごしましょう!



保健より 夏の感染症



連日の暑さが続いているようですが、疲れは出ていませんか？今年は、去年はほとんど流行しなかった感染症が報告されています。先月はアール熱(咽頭結膜熱)についてお伝えしましたが、同じく夏の感染症の<手足口病>と<ヘルパンギーナ>についてお知らせします。どちらも登園許可の提出が必要です。

<手足口病> 潜伏期間:2~5日 感染経路:飛沫、接触、経口感染

症状:発熱、口や喉の痛み、手・足の発疹、水疱、口内炎。稀に髄膜炎・脳炎などの合併症を引き起こす。

<ヘルパンギーナ> 潜伏期間:2~4日 感染経路:飛沫、接触、経口感染

症状:突然の高熱、咽頭痛、咽頭発赤を呈し、口腔内に水疱や発赤が出現。水疱は破れて痛みも伴う。2~4日で解熱し、7日程度で治癒する。高熱にする合併症としては倦怠感、口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になる事もある。合併症としては熱に伴う熱性痙攣、稀に髄膜炎や心筋炎が生じる事がある。